

鐵道敷設法案特別委員會議事速記録第八號

大正十一年二月二十七日(月曜日)午前十時二十八分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ鐵道敷設法案ノ特別委員會ヲ開キマス

○子爵野村益三君 前會ニ於テ、廣軌トノ關係ニ付テハ暫ク扣エルトカ云フ御話ガフリマシタガ、願ハクハ私ノ考トシテハ、矢張豫定ノ順序ニ從テ、廣軌ニ對スル當局者ノ御説明並ニ議論ニ互ラザル我々ノ質問ヲ御始メニナランコトヲ希望致スノデアリマス、附加ヘテ申シマスガ前回モ申シマシタル如ク、此法案並ニ委員會ハ相當内外ノ注意ヲ引イテ居リマス故ニ、此會ノ審議ノ經過徑路ト云フヤウナコトニ付テハ成ベク纏メテ置キタイ、整ヘテ置キタイ所ヲ考ヘルノデアリマス、其點カラ見マシテモ矢張豫定ニ從テ廣軌關係ノコトヲ一通リ御話ヲ伺ヒ、又質問スル必要ガアラウト思ヒマス、旁、私ハ動議ヲ提出シタ因縁上改メテ希望ヲ申述ベテ置キマス

○政府委員(石丸重美君) 前回ニ内田サノ御質問ガゴザイマシテ、ソレニ對シマシテ政府ガ執リ來テ居リマス所ノ軌幅ニ對シテ御説明ヲ極簡單ニ申上ゲタイト思フノデゴザイマス、之ニ付マシテ御斷リ申上ゲテ置キマスノハ、私ガ御話ノ中ニ普通廣軌ト云フコトヲ申上ゲマスガ、是ハ歐羅巴デ只今一般ニ使ハレテ居ル所ノ力ヲ有シタル廣軌ノ意味デゴザイマス、強度ノ廣軌ト斯ウ申上ゲルノハ亞米利加ノ標準軌軸ノ上ニ成立テ居リマスルノ一軸ニ掛リマスル所ノ最大噸數ノ二十七噸ト云フモノヲ土臺トシテ考ヘマス其モノヲ強度廣軌ト云フ意味ヲ以テ御話イタシマス、ドウゾ其御積リテ御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ其廣軌、狹軌ト云フコトニ付マシテ日本ニ應用シマスルコトニ付テノ私ノ自分ノ意見ヲバ一切交ゼセヌ積リデアリマス、偶ニ御説明申上ゲル中ニ若シ氣ガ付カズニ出ルカモ知レマセウ、ソレハ後ニ取消シ致スコトニ致シマス、成ルベク意見ヲ交ヘズシテ御明申上ゲマス左様ドウゾ……初ニ此廣軌改築ニ對シマスル問題ノ起キマシタ其概略ヲ極簡單ニ唯年月ト内閣ノ違ヒマシタノニ付テ、チヨット必要上申上ゲテ置キマス、抑明治初年即チ三年ニ我國ニ於テ鐵道建築ガ始マリマシテカラ今日マデ漸ク追ヒマシテ三呎六吋ト云フ一ツ「ゲージ」ヲ標準ト致シマシテ出來上リマシタモノガ約六千三百哩、是ハ官設デゴザイマス、ソレカラ私設デ約二千哩ト云フコトニ連テ居リマスガ、丁度明治二十九年ノ頃ヨリシテ軌

幅改築ノ問題ガ世間ニ段々起キテ參リマシタノデゴザイマス別段具體的ノ議論ニ移テ居リマセウ、明治四十三年即チ桂内閣ノ時ニ於キマシテ、政府ハ第二十七議會ニ廣軌改築案ヲ提出イタシマシタノデアリマスルガ、議會ノ希望ニ依リマシテ之ヲ撤回シタノデゴザイマス、而シテ其翌年即チ四十四年四月矢張是モ同内閣ノ下ニ廣軌改築準備委員ト云フモノ、官制ガ出來マシテ、サウシテ朝野ノ斯道ニ堪能ノ御方ナドガ委員ニナラレマシテ、廣軌案ニ付テ研究イタサレタノデアリマス、サウシテ委員會ハ其準備委員ニ於テ政府ヨリ持出シタ案ヲ詮議サレタノデアリマス、然ルニ同年十二月西園寺内閣ニナリマシテ、政府ハ財源ノ關係上、廣軌改築ノ實施ヲ見合セル、斯ウ云フコトニナリマシタノデアリマス、續イテ又大正二年六月ニ山本内閣ノ時ニナリマシテ、廣軌改築ニ關スル準備施設ナドハ、一切中止スルト云フコトヲ、閣議決メラレマシタノデアリマス、然ルニ大正四年十二年大隈内閣ノ時ニ於キマシテ、又廣軌改築ノ方針ヲ決定セムコトヲ閣議ニ求メラレタノデアリマスガ、是モ決定ニ至リマセズシテ其儘ニナッタノデアリマス、ソレカラ大正五年四月ニナリマシテ大隈内閣ノ下ニ於テ軌制調査會ト云フモノヲ設ケマシテ、殆ド各省ノ次官、ソレカラ鐵道院ノ職員其他内閣書記官長等ガ委員ニナリマシテ、サウシテ、又研究ヲ致シタノデゴザイマスガ、トウ……決定ニ至ラズシマシテ解散スルヤウニナッタノデゴザイマス、ソレデ大正五年十二月向ホ寺内内閣ノ下ニ鐵道院ノ當局ハ將來廣軌改築ノ場合ヲ豫想イタシマシテ、工事ヲ起シセムトスル閣議ヲ申請イタシマシタノデアリマスガ、大正六年十二月ニ閣議ノ決定ハ、廣軌改築ノ件尙ホ十分研究調査ヲ要スルニ付キ他日ノ詮議ニ讓ルト云フコトヲ以テ閣議申請ヲ下ダタノデゴザイマス、是ガ此我ガ國有鐵道ノ廣軌改築問題ニ對シテノ歴史デゴザイマス、爾來當内閣ニナリマシテハ唯今ノ法律ニ依テ決定テ居リマス所ノ軌間三呎六吋ニ於テ之ヲ十分改良シテ進ムハ、別段鐵道輸送ニ付テ缺陷ヲ生ズルコトハナク云フ確信ノ下ニ進ミツ、アルノデアリマス、是ハ無論遠キ將來ニ付テノ斷案デハナイノデゴザイマス、抑、現政府ガ此方針ヲ執リマシタノハ鐵道ノ軌幅ノ廣イ狹イト云フコトハ、是ハ絕對的ノモノデハナイ、相對的ノモノデアアル、要スルニ輸送力ガ足りルカ足りナイカト云フ所ノ問題ニ歸著スルノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申セバ三呎六吋ノ鐵道ヲ以テ日本ノ將來ノ交通機關ト致シマシテ、運輸數量ヲ圓滿ニ輸送スルコトガ出

來ルカドウカト云フコトガ、主要ナル論點ニナルノデアリマス、或ハ旅客ノ待遇ニ對スル設備トカ、サウ云フコトニ付マシテモ色々議論ニ出マセウガ、重モナル點ハ輸送力ノ問題ニ歸著スルノデアリマス、我鐵道ノ現在ノ軌幅ニ於キマシテ、之ヲヨリ廣イ軌幅ニ改築イタシマセウデモ、現在ノ軌幅ノモノヲ出來ルゲケンレダケ改良擴張シテ參リマシタレバ、遠キ將來ハ別ト致シマシテ、吾々ガ判斷ノ出來ル範圍ニ於キマシテハ、直チニ輸送力ノ困難ヲ來スト云フコトハナイデアラウ、斯ウ唯今ノ政府ニ於テハ確信イタシテ居ル次第デアリマス、其改良手段ハドンナ事デアアルカト申シマスルト、是ハ色々ゴザイマスルガ、今現在ニ執リ來テ居リマスル所ノ主要ナルモノヲ申上ゲレバ、是カラ申上ゲルヤウナコトニナルノデゴザイマス、第一ニ複線複々線區間ノ増設、現行ノ建設既成線ハ六千餘哩ゴザイマス、其中デ複線ノ區間ナルモノハマダ千哩ニ達シナイノデアリマス、即チ鐵道ノ單位ヲ複線ト致シマスレバ、マダ單位ニ達シナイモノガ五千哩以上ゴザイマス、就中東北線ノ如キ、東海道ノ如キ、未ダ日本ノ大幹線ニ於キマシテスラ複線ノ完備シナイ所ガ殘テ居ルノデアリマス、ソレ故ニ此區間ヲ複線ニ致シ輸送力ヲ増スト云フコトニナリマスレバ、是デモ唯今ノ輸送力ヨリカ餘ホド殖エテ參リマスノデアリマス、狹軌ノ複線ハ廣軌ノ單線ヨリヨリ以上ノ輸送力ヲ有テ居ル次第デアリマス、第二ニ信號設備ノ改良、此信號設備ノ改良ヲ致シマスレバ、今マデ現今マデ出シテ居リマシタ其列車回数ヨリハヨリ以上ノ列車ガ出セルノデアリマス、即チヨリ以上ノ物ヲ運フコトガ出來ルノデアリマス、例外ハ別トシテ我ガ鐵道省ニ於テ執リ來テ居ル所ハ、單線ニ於テハ片道約三十回列車ヲ出スノヲ先ヅ普通ノ標準トシテアルノデアリマス、複線ニ於キマシテハ七十回、ソレヲ自働信號機ヲ使ヒ尙ホ色々ナ信號ノ改良ヲ致シテ參リマスレバ、複線ニ致シテ百三回、單線ニ致シテ五十回以上ノ列車ヲ出スコトガ出來ルノデアリマス、ソレカラ第三ハ車輛聯結器ノ改良及空氣制動裝置、是ハヨク毎々申上ゲルコトデゴザイマスルガ、現今ノ車輛聯結器ハ甚ダ力ガ弱ウアリマシテ、吾々ガ望ムトコロノ十分ナル牽引力ニ堪ヘル力ガ少イノデアリマス、ソレ故ニ之ヲ自動聯結器ニ致シマシテ、凡ソ堪ヘル力ガ三倍グラキニナルモノヲ、總テ車輛ノ改造ヲ致シ尙ホ空氣制動機ヲ使フコトニナリマスレバ、列車ノ安全速力其他ニ於テ尠カラザル所ノ能率ヲ増ス次第デゴザイマス、ソレカラ第四ハ線路ノ勾配、及ビ曲線ノ改良、是ハ我國ハ非

常ニ山脈ニ迫ラシテ居ル國デアリマシテ、隨分線路ノ勾配ハ急勾配ガ多クデアリマス、既ニ東海道幹線ニ於キマシテモ御承知ノ通り四十分ノ一ノ急勾配ヲ使テ居ルノデアリマス又或ル場所ニ於テハ三十分ノ一ノ急勾配モ使テ居ルヤウナ次第デアリマシテ此勾配ヲ緩クスルト云フコトガ非常ニ輸送力ヲ増ス基ニナルデアリマス、現ニ熱海線ノ如キハ只今ノ現在線ノ輸送力ヲ一ト致シマスレバ、唯今ノ改良イタシテ居ル線路ガ出來上リマスレバ、三ノ輸送力ヲ得ルデアリマス、大津京都間ノ改良モ亦勾配及ビ、曲線、並ニ線路ノ延長ノ改良デアリマシテ、是ハ御承知ノ通り既ニ出來上リマシテ、是ガ爲ニ東海道ノ京都東京間ノ列車ニ最大急行ニ對スル時間ガ約一時間縮マリマシタ、而シテ貨銀モ亦低廉ニナルト云フヤウナ具合ニ非常ニ改良ニナタテデアリマス、斯ウ云フ場所ハマダ他ニモアルデアリマス、ソレカラ第五ハ水陸連絡ノ設備及ビ改良並ニ海陸運輸區分ノ整理、是ハ鐵道ガ水運、若クハ海運ト極ク圓滿ニ結付クト云フコトハ、是ハ又非常ニ必要ナコトデアアルデアリマス、是ハ餘程マダ現在ノ日本ニ於テハ急テ居ルノデアリマス、ソレ故ニ此改良ヲ致シ設備ヲ完全ニスルト云フコトニ致シマスレバ、輸送能力ヲ増シ、而シテ非常ニ經濟的ニ行ケルヤウニナルデアリマス、又運輸區劃ヲ之ニ依テ明カニスルコトガ出來マスレバ、從テ貨物ノ輸送ノ方法、其他ニ於テ、大ニ唯今トハ能率ノ差ヲ生ジテ參ルデアリマス、第六ハ電力應用、並ニ電化工事、既ニ都市ノ附近ニ於キマシテ、尙ホ都市ノ中ニ於キマシテ高速度ノ設備ヲ致シ、屢、其回数ヲ非常ニ殖スト云フコトノ方法ニ於テハ、御承知ノ如ク東京附近ニ於キマシテハ著々之ヲ致シテ居ル次第デアリマス、尙ホ之ヲ他ノ旅客ノ混雜シテ居ル區間ニ施シ、而シテ其値打ニ於テ電氣工事ヲ致シテ、唯今ノ蒸汽列車ヲ動スヨリ經濟、其他總テノ點ニ於テ宜シト云フ區間ニ於テハ、電化工事ヲ於シマシテ、是レ亦輸送能率ヲ増シ、益、經濟的ニナルト云フ方法ヲ執ルノ一策トナルデアリマス、第七ハ車輛ノ改良及ビ増加、是ハ機關車、其他客貨車等ノ改良ヲ致シ、及ビ之ヲ成タケ其數ヲ増ス、此機關車ノ改良ニ付マシテハ唯今當局ニ於テ執來テ居リマス所ノ計畫ガアリマス、是ハ後ニ今少シク具體的ニ御話ヲ申上ゲルコトニ致シタイと思ッテ居リマス、既ニ此車輛ノ改良ニ依リマシテ輸送力ヲ増加シテ居ル例ガアルデアリマス、ソレハ明治四十二年ノ場合、其時代ニ於テノ輸送力ト今日ノ實況トニ比ベテ見マス、約五割バカガ増加ヲ致シテ居ルデアリマス、是ハ機關車、其他車輛ノ改善ニ於テ出來タ所ノ結果デアリマス、ソレ尙ホ將來モ改善ヲ加ヘマスレバ、大ニ輸送力ヲ増加スルコト、思ヒマス、第八ハ鐵道網ノ完成、是ハ今日議題ニ參テ居リマス、即

チ既成線ノ輸送ヲ救済スルコト共ニ連絡、其他ノ働キニ依ッテ複線或ハ複々線ノ作用ヲ増シテ、彼我相共ニ交通ヲ司ルト云フコトニナルデアリマス、是ハ唯主モナモノデ實際行ハレツ、アルモノヲ申上ゲタ次第デアリマス、先ヅチヨット申シマシテモ、斯ノ如キ改良ヲ十分ニ致シマスレバ、今日ノ我々が取扱テ居リマスル此鐵道ニ於テ十分ニ輸送力増加ノ途ガアルト斯ウ思フデアリマス、是ハ今ノ改良スレバ宜シト云フコトガドウ云フモノヲ改良スルノカト云フ、御間ニ向ッテ何デゴザイマス、斯ノ如ク改良ヲ致シマシテモ、尙ホ此國ノ將來ニ對シテノ輸送増加ト云フコトノ適應スル爲ニハ唯是ダケノ改良ヲシタラ、ソレデ以テ満足スルコト云フコトハ無論ナイデアリマス、ソレニハソレニ對スル又計畫ヲ、改良スルト共ニ致サナケレバナラヌデアリマス、之ヲ申スニ付マシテハ、茲ニ斯ウ云フコトヲ申上ゲバナラヌデアリマス、茲ニチヨット申上ゲマシタ、今日日本ノ軌幅ニ於テ其力ハ、此今ノ日本ノ軌幅ニ於テノ此輸送力ニ對スル力ハ、歐羅巴ノ普通廣軌ノ其輸送力ニ對スルモノトドウデアアルカト申シマスルト當局ガ計畫イタシテ居リマス、其機關車ガ出來テ、其設計ガ全クナレバ唯今歐羅巴ガ使テ居リマスル所ノ普通廣軌ノ力ト較ベマシテ劣ラナイモノガ出來ルト云フ確信ヲ持ッテ居ルデアリマス、強度ノ廣軌ニ較ベマスレバ、無論アリマセスガ、歐羅巴ノ...歐羅巴ノ普通廣軌ニ較ベマスレバ殆ト大差ナイト云フマデニ參テデアリマス、此速力ニ於テ幾分カ歐羅巴ノ標準軌幅ニ及バナイ所ガアルノデゴザイマス、其事ニ於テ之ガ一番大切ナ問題ニナルデアリマス、其我國有鐵道ニ於テ一番輸送力ヲ要スル、尙ホ益、増加スル此東海道ニ於テ之ヲ具體的ニ調ベテノデアリマス、東京神戸間ノ輸送能力ノ限度ハドウデアアルカト云フコトヲ前ニ申上ゲマシタ、亞米利加ノ標準汽機關車ト云フモノヲ使フト云フ、我國有鐵道ノ現在ニ使ッテ居ル機關車、將來之ニ造ルト云フ機關車、其働キ比較イタシマシテ、其限度ヲ年度ヲ以テ現ハシテデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申セバ、日本ノ只今ノ儘デ機關車ヲ改良シテ參レバ何年デ以テ輸送力ガ盡キルカ、亞米利加ノ機關車ヲ以テ廣軌ニ改築シテ致スコト、致セバ何時盡キル、ソレヲ比較ヲ致シテノデアリ、其調ハ矢張色々ノ假定ガ這入リマス、人ノ噸哩ノ如キ年々ノ増加數量ヲ以テ大正十四年ヨリ十五年ニ至ル増加數量、之ヲ人ノ噸哩ニシテ三「パーセント」噸哩ニ致シテ四「パーセント」斯ウ云フコトデ同ジモノト致シテ假定ヲ致シタイ、ソレ東京ヨリ神戸ノ間デ東京大船間、是ハ御承知ノ如ク既ニ旅客ニ對シテハ電車ヲ出シテ置イテ、尙ホ既定ノ計畫ト致シマシテ二線殖ヤスト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ米原神戸ノ間ニ於キマシテモ亦其計畫ヲ致シテ居ル、要スルニ國府津ヨ

リシテ米原ニ至ル間ガ問題ニナルデアリマシテ、而シテ此米原神戸ノ間ハ御承知ノ如ク北陸線ノ關係ガアリマシテ、頗ル貨物モ餘計集中ヲ致ス、先ヅ第一番ニ狹軌複線軌間ノ輸送能力限度ニ對スル年度ヲ見マシタノデ、即チ米原神戸間、是ハドウ云フ假定ノ下ニ造タカト云ヘバ、神戸米原間ハ將來ノ吾々ガ造ルベク考ヘテ居リマス所ノ貨物用蒸氣機關車ノ之ヲ私等ノ方デハ機三八型ト申シテ居ル、ソレハ丁度牽引重量千噸ノ力ヲ持ッタ蒸氣機關車ナデアリマス、之ヲ以テ勘定致シマスルト大正四十年度乃至大正四十二年度ニ於テ其輸送力限度ニ達スルデアリマス、即チ一日片道約百回ト云フ限度ニ達スルデアリマス、ソレカラ是モ亦我々が將來造ラウト思フテ居ル電氣機關車、是ハ牽引重量ガ千九百噸、是ハ現ニ「トランスポール」ニ於テ既ニ使ヒツ、アル電氣機關車デアリマス、之ヲ以テ勘定致シマスルト、大正五十年度乃至大正五十二年度ニ於テ何レモ一日片道約百回ニ達スルノデゴザイマス、是ハ米原神戸間ノ複線ノ問題デアリマス、ソレカラ國府津米原ノ間ハ矢張同ジ機三八型ノ牽引重量千噸ヲ牽キマス所ノ機關車ヲ以テ勘定致シマスル、大正五十六年度乃至大正五十九年度ニ於テ片道約百回ト云フ限度ニ達スルデアリマス、又先キ千九百噸ヲ牽キマス所南阿型ノ電氣機關車ヲ以テ勘定致シマスルト大正七十二年乃至七十三年度ニ於テ片道約百回トナルデアリマス、斯ノ如ク米原神戸間ニ於キマシテハ、其用キル機關車ニ依リマシテ、現在千九百噸ト云フ牽引重量ヲ用キマシテ電氣機關車ヲ用キマスレバ、大正五十年乃至大正五十二年ニ達シナケレバ、マダ輸送力ハアルト云フコトニナルデアリマス、國府津米原間ハドウカト申シマスルニ、電氣機關車ナラバ七十二年乃至七十三年度マデハマダ輸送力ハアル、斯ウ云フコトニナル、是ハ今ノ複線ガ盡キテ今度ハ第二番複線ヲ要スル時ナンデアル、ソレカラ廣軌狹軌ニ於テ輸送力ノ限度ニ到達スル年度ノ相違ヲ比較ヲ出シタデアリマス、今申上ゲタ亞米利加ノ二十噸ノ機關車ヲ出シタデアリマス、蒸汽機關車運轉ノ場合米原神戸間ハ四線ニ増築スルモノト致シ、國府津米原ニ付テ廣軌ニ改築スルコトニ依ッテ輸送能力ノ限度ニ到達致シマス期限ハ何年間延長シ得ルカ、斯ウ云フコトヲ見ルデアリマス、ソレニ狹軌ノ方デハ客車十二輛掛カル、廣軌テハ十四輛掛カル、斯ウ云フ假定ノ下ニ置キ、ソレカラ列車ノ速度デ勘定シテ參リマス、其速度ノ假定ハ廣軌ニアリテハ列車ノ平均速度ヲ狹軌ニ比ベマス、旅客列車ノ場合ニ二割五分尙早ク、是ハ廣軌ニ取テ有利ニ割合ガ取アルデアリマス、貨物列車ノ時ハ一割増、斯ウ云フ假定ヲ致シテ而シテ勘定致シマスレバ、國府津米原間ノコトヲ申スデアリマスガ、

大正八十五年乃至大正八十六年度ニ於テ、一日當リデハ約百十回ト云フモノニ達スルニハ、今申上ダタ米國ノ標準大型ノ貨物機關車、其牽引重量ハ千五百噸、之ヲ以テ勘定致シマスルト、唯今申上ダタ如ク大正八十五年乃至大正八十六年度ニ初メテ片道百十回ト云フコトニナラデ、廣軌ト致シマスルニ輸送力ガ是デ盡クル、又今度新タニ線路ヲ敷カネナラヌト云フ時ニ達スルノデアリマス、是デ國府津米原間ハ廣軌ニ改築スルコトニ依ッテ、複線ニ於テハ二十年乃至二十九年、其盡クル限度ニ達スルコトヲ今ノ境遇ニ比ベルト、是レダケ後レテ來ル、斯ウ云フコトニナル、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、狹軌デ致スモノヲ廣軌ニ變ヘテ米國ノ標準ノ機關車ヲ以テ輸送スレバ、二十七年乃至二十九年デ其何ガ來ル、斯ウ云フコトニナル、是ヲ蒸汽列車ノ場合、ソレカラ電氣機關車運轉ノ場合ヲ申シマスルト、此假定ハ矢張唯今申上ダタ蒸汽列車ノ場合ト同ジ假定ヲ致シマスノト、電氣機關車デ、米國デ今「ベンシルバンヤ」鐵道デ試驗機關車トシテ用キテ居リマスル貨物機關車ガアルノデアリマス、電氣機關車ガアル、是ハ未ダ試驗機關車アルノデゴザイマスガ、モウ實用ノモノニナラデ居ルノデゴザイマス、其牽引重量ハ三千噸、斯ノ如キ大キナ機關車ヲ使用スルノ限度ヲ勘定イタシマス、ソレヲ以テ輸送能力ノ限度ニ於テ初メテ片道百十回ニ達スルノデアリマス、サウ致シマス丁度今ノ前ノ國府津米原間ニ於キマシテハ、約三十四年乃至三十八年間運轉此限度ニ達スル、斯ウ云フコトニナル、即チ亞米利加ノ牽引重量三千噸ヲ牽クヤウナ大キナモノヲ以テ廣軌ニ改築致タスモノト致シテ、其年度ハ、三十四年乃至三十八年ダケヲ今ノ狹軌ノモノニ較ベマシテ延ビル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、唯今申上ダタコトヲチヨット約メテ申上ダマスルト、大分混雜スルノデアリマスガ、國府津米原間ニ於テ廣軌ニ改築スルコトニ依ッテ蒸汽運轉ト電氣運轉ト下チラノ場合デモ、二線運轉、即チ複線ノ盡キヤウト云フ其場合ヲ線ヲ見レバ約二十七年乃至三十八年間ダケ此亞米利加ノ強度廣軌ニスレバ運轉行ケル、ソレカラ今度四線運轉ヲスル、即チ複線ノ盡キマス年度ハ五十二年乃至六十九年先キニナル斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレデ今申上ダマシタ此我々ガ將來ニ機關車ヲ改良製造スベキ、其一千百噸ヲ牽キマスル、其機關車、及ビ電氣機關車ノ一千九百噸ヲ牽クト云フ、此機關車ハ是ハ空前ノモノデモ何デモナイ、是ハ現ニ「トランスバール」ニ參リマシテ、アチラノ鐵道ヲ見學シテ歸ッテ來テサウシテ出來ベキモ、デアアルト云フ自信ノ下ニ編ミ、山シタモノデアリマス、此所ヘハ少シドクナリマスガ、此東海道線ノ今ナニシマシタ比

較ヲ是ハ又御參考ニナラウト思フ、唯今官設鐵道ノ此機關車一軸ニ掛リマスル最大軸ノ軸張ヲ噸デ示シマス、十四噸ト云フノガ、之ガ許サレテ居ルノデアリマス、ソレヲ最強ノ狹軌ニ改築イタスト一軸十八噸、十七噸幾ハト云フ、マア十八噸ト云フコトヲ限度ト致シテ宜カラウ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ亞米利加ノハ二十七噸ト云フ一軸ノ重量之ヲ今比較シテ見マス、旅客列車ニ於キマシテノ運轉速度、是ハマア先キニ申上ダマシタ通りノ割合デ幾分廣軌ノ方ニ好クシテアルノデアリマスガ、是ハ現在ノ運轉速度ハ急行ニ於テ三十二哩平均、ソレカラ強度ノ狹軌ニ致シマス、三十五哩、強度ノ廣軌ニ致シマス、四十四哩、ソレカラ列車ノ編成ハ現今デハ狹軌十二輛、此乘車人員二百九十七人、強度狹軌ニ致シマス、矢張十二輛デ二百九十七人、強度狹軌ニ致シマス、十四輛デ三百七十七人、ソレカラ貨物列車デ比較イタシテ見マス、機關車牽引重量ニ於テ蒸汽機關車デハ十四噸積ミニ於テ六百五十噸、是ハ現今デアリマス、ソレカラ強度ノ狹軌ニ致シマス、千五百噸、ソレカラ廣軌千五百噸、ソレカラ強度ノ廣軌デ千九百噸、強度ノ廣軌ニ於テ三千噸、ソレカラ列車ノ複線期間ニ於ケル列車回數限度デアリマス、是ハ一々片道強度ニ於テ百回、是ハ現今デアリマス、將來最強ノ狹軌ニ致シテ百三回、強度ノ廣軌デ百十回、是ハ無論自動信號機ヲ使ッテノ話デアリマス、ソレデ四線ヲ要スル年度、即チ複線ノ盡キルトキ、複線ニ於テカノ盡キルトキ、ソレハ東京小田原間、之ガ現今ニ於テ大正三十三年、併シ此東京小田原間ノ如キハ、ソレカラ京都神戸間ノ如キハ、既ニ此複線ノ計畫ヲ持ッテ居ルノデアリマス、又東京小田原間ノ如キハ電車ノ計畫ヲシテ既ニ仕事ヲシツ、アルノデアリマス、是ハ唯蒸汽ダケノ期限數ヲ御話スルノデアリマス、東京小田原間大正三十三年、ソレカラ強度ノ狹軌ニ致シマシテ蒸汽ニ於テ大正五十一年、電氣ニ於テ大正六十八年、強度ノ廣軌ニ於テ蒸汽ニ於テ七十六年、電氣機關車ニ於テ百三年、其差ガ蒸汽デ二十五年、電氣デ三十五年、小田原米原間ガ狹軌デ三十九年、強度ノ狹軌デ五十八年、ソレカラ強度ノ廣軌デ八十五年、電氣デ百十年、米原京都間ガ狹軌デ三十年、強度ノ狹軌デ四十二年、是ハ蒸汽、電氣デ五十二年、強度ノ狹軌デ六十年、電氣デ七十六年、京都神戸間ガ強度ノ狹軌デ二十八、強度ノ狹軌デ四十二年、電氣デ五十二年、強度ノ廣軌デ五十九年、電氣デ七十六年、先ヅ斯ウ云フモノガ出タノデアリマス、是ハ今申シマス通り京都神戸間二十八、東京小田原間三十三、米原京都間三十九ト云フノガ、モウ既ニ今一線造ル計畫

デ既ニ造リツ、アリマス、要スルニ唯小田原米原間ガ問題ニナリマス、斯ノ如ク調ベテ參リマスルト狹軌ニ於テ歐羅巴ノ普通ノ廣軌ト大差ナク、亞米利加ノ大ナル廣軌ニ較ベマスレバ斯ノ如クナリマス、此亞米利加ノ比較イタシマシタ廣軌ト申スモノハ、是ハ機關車ノ一軸二十七噸ト云フエライ意味ガ掛ルノデアリマシテ、現今ノ橋、現今ノ鐵道ノ條軌デハ無論持ッナイ、總テノ建造物ヲ永久ノニスツカリ改築イタシマセバ其大ナル力ノ機關車ヲ載セルコトハ出來マセ、今申シマシタ強度ノ狹軌ト云フモノハ一軸二十八噸ノ力ヲ持ッモノデアリマシテ、歐羅巴ノ唯今使ッテ居リマス機關車モ大概サウ云フモノニナラデ居ルノデアリマス、ソレハ御手許ニ差上ダテゴザイマスル此「ブリュ、プリン」ガゴザイマスガ、之ガ今ノ歐羅巴ノ機關車ノ牽引數量、重量速力其他ノモノガ皆之ヲ御覽下サイマス、思ヒ半バニ過タルモノガアラウト思ヒマス、ソレカラ昨年此表ヲ差上ダタサウデゴザイマスガ、是ハ或ハ南阿ト云フ所ノ數字ノ中ニ多少ノ違ガアリハシナイカト懸念イタシマス、其時ハマダ留學生ガ歸リマセズシテ確カナモノカ分リマセズニ居リマシタガ、今年差上ダマシタノハ、留學生ガ持ッテ歸リマシタ「スタンダード」ニ依ッテ戴セタノデアリマスカラ、是ハモウ違ヒハナイノデアリマス、ソコデ此機關車ノ如キモ南阿ニ於テモ亦、ヨリ以上ノ機關車ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、無論此南阿ノ鐵道ナルモノハ、非常ニ發達シテ居リマシテ「レル」ノ如キハ八十封度以上ノモノヲ主ニ使ッテ居ルノデアリマス、日本デモ此「レル」ハ成ルダケ大キク致サナレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ次第デゴザイマスガ故ニ、此東海道ノ輸送力ノ今ノ有様ガサウ云フコトデアリマスカラ、先ヅ將來ニ於テ遠キ將來ハ存ジマセ、將來ニ於テ直チニ之ヲ廣軌ニ變ヘナケレバ輸送力ガ盡キテ、如何トモスルコトガ出來ヌト云フコトハ決シテナイト、斯ウ考ヘテ居リマス、右モ經濟上ノ考モゴザイマスルガ、是ハ唯輸送力ノ盡キル期ハ何時デアルカサウシテ廣軌ニ較ベテドウナルカト云フコトヲ採ッタノデアリマス、歐羅巴ノ今ノ普通ノ廣軌ニ於テハ此表ニ上セル迄モナク、モウ殆ド同ジ力ニナラデ居リマス、ソレカラ向ホ御手許ニ差上ダマシタ建築條軌、車輛條軌デゴザイマスガ、之ヲ御覽下サイマスルト、此「ベルン」ノ會議ニ於テ決リマシタ歐羅巴ノ共通ノ建築條軌並ニ車輛條軌ト云フモノガ、丁度今鐵道省ニ於テ大正十年十月十四日省令ヲ以テ建設條軌ヲ發布イタシマシタガ、其條軌殆ド幅ハ違ハナイノデアリマス、十呎二吋、之ガ「ベルン」會議ニ於テ協定ニナタ車輛條軌ノ幅デアリマス、此限度ニ於テ日本ノ車ノ幅ヲ造リマシテ、少シモ危クナイト云フコトニ到著イタシタノデアリマス、唯茲ニ「ベルン」會議ニ於テ決メマシタ其「ゲージ」ト、ドレダケ

違フカト云フ、高サガ五呎違フノデアリマス、ソレカラ獨逸鐵道聯合ノモノガゴザイマスガ、之モ此處ニゴザイマス英吉利ノ「コントラクション、ゲージ」モ「ベルン」ノ會議決メマシタ其「ゲージ」ノ中ニ這入テ居リマス、之ヲ見マシテモ歐羅巴ノ普通ノ制限迄ハ、スルコトガ出來ルト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ只今申シマシタ機關車ノナニハ、此處ニゴザイマスノデ、ドウカ此表ヲ御覽ヲ願ヒタイ、尙ホ車ノ幅等ハ第三面ノ圖ニゴザイマスカラ御覽ヲ願ヒタイノデゴザイマス、ソレカラ先キニ此廣軌ノ研究ノ歴史ヲザット申上デマシタガ、茲ニ表ヲ差上デテ置キマスガ、是ガ其當時ノ研究ニ依テ出來マシタ表デゴザイマス、工作關係ト云フコトガ更ニ書イテアリマス、廣軌道基準、其他對照表ト云フノガ所謂廣軌改築準備委員會出來マシタ案デゴザイマス、是ハ普通ノ廣軌ト強度ノ廣軌デアリマス、此強度ノ廣軌ト云フモノハ、私ガ只今申上デマシタ廣軌ヨリハ少ナク、ソレハ最大地軸ニ掛ル最大重量ガ二十二噸デ、普通ノモノハ矢張十八噸軸ニナテ居ルノデアリマス、ソレカラ大正六年ノ島案、是ハ御承知ノ通り下ノ「ゲージ」ヲ廣軌致スデケ、外ハ少シモ變ラナイノデアリマス、詰リ唯「ゲージ」ヲ替ヘルダケデアリマス、即チソレニ依テ生ズル所ハ「スピード」ガ少シ早クナリ、安定ガ良クナルト云フ位デ、外ハ少シモ變ラナイ、ソレカラ線路關係ト云フノガ茲ニ二枚差上デテゴザイマスガ、是ハ廣軌ノ關係デゴザイマス、之ヲ見マスト、丁度四十三年ニ廣軌改築準備委員會會議決サレマシタノガ總額デ七億一千六百萬圓、東京下ノ關ノ間ハ一哩ニ付テ十九萬九千五百圓、ソレカラ本州ノ線路ノ方ガ十四萬七千七百九十圓ト云フコトニナテ居リマス、是ハ四十三年ノ調デ、大正五年ノ軌制調査會ノ時ニハ普通ノ廣軌ガ原案ガ八億三千万圓、修正案ガ七億七千万圓、ソレカラ強度ノ廣軌ガ原案ガ八億五千六百萬圓、修正案ガ八億九千九百萬圓餘ト云フコトニナテ居リマス、是ハ何レモ只今ノ價格デ丁度七割増トカ何トカ云フコトニ致シマスレバ、ソレデ宜イノデアリマス、ソレカラ此外此「ゲージ」ノ對照ニ對シマシテノ可否ノ意見ハ私ハ個人トシテ有テ居リマス、又當局ト致シテモ有テ居リマスガ、ソレハ今日ハ此場合必要ガゴザイマセヌカラ、申上デヌコトニ致シタイと思ヒマス、先ヅ運輸上、技術上、財政上、軍事上其他交通政策ト云フヤウナ工合ニ分ケテ之ヲ御話スレバ宜イカト思ヒマスガ、ソレハ今日ハ申上デマセヌ、ソレハ具體的ノ只今現政府ガ執テ居ルノハ、斯ウ進ンデ居リマスト云フ、斯ウ云フ御說明ヲ申上デテ置キマス、ソレガ昨日ノ内田サンノ御注文ト記憶イタシテ居リマス

○子爵野村益三君 是ハ豫テ廣軌改築ノ可否ニ就テト云フ冊子ヲ拜見シテ居ルノデアリマス、是ハ薄イモノデアリマスガ、是ハドウ云フコトデ出來上リマシタモノデアリマス、何時頃御拵ヘニナテドウ云フ方ガ御用キニナツタノデアリマス、尙ホ鐵道省ノ意見トシテハ、矢張改築ニ付テハ依然トシテ此前ノ御意見ヲ踏襲サレテ居ルモノデアリマス、其邊ノコトヲ伺ヒマス

○政府委員(石丸重美君) 今日ノ當局ニ於キマシテハ、先ヅ大體ニ斯ウ云フ意見デ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○子爵野村益三君 何時頃御拵ヘニナツタノデゴザイマス、ドウ云フ手デ御使ヒニナツタモノデゴザイマス

○政府委員(石丸重美君) 是ハ昨年運輸局長ガ作ッタノデ...

○子爵野村益三君 サウシマス、矢張我々委員トシテハ、大體之ヲ拜見シテ置イタ方ガ宜シ、又場合ニ依ッテハ重ネテ御說明ヲ願ハナイトシテモ、セメテ速記録ニデモ載セテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、願クハ各員ニ御配付ヲ願ッテ宜カラウト思ヒマス、ソレヲ併セテ伺ヒマス

○政府委員(石丸重美君) 是ハ今朝デゴザイマシタ野村子爵カラ御話ガゴザイマシタガ、今此處デ淨書イタシテ居リマス、是ハ差上デテ差支ナイト思ヒマスガ、一應大臣ニ伺ヒマシテ、是ハ野村子爵ハドウ云フナシテ御手ニ入リマシタ、別ニ秘密デモ何デモナイノデスガ、人ニ話スニ便利デアルト云フコトデ、運輸局長ガ物シタモノデアリマス、又私モ是ト少シモ意見ハ變リハ致シマセヌ...ソレデハ部數ガ少シ足リマセヌカラ、揃ヒ次第差上ゲルコトニ致シマス

○和田彦次郎君 唯今ノ廣軌ノ件ニ關シテ大體ノ御說明ヲ得マシテ、大變我々素人ニハ知識ヲ得マシタ、輸送能力其他廣軌ニ改良スルト現在ノ儘ヲ改良スルトニ付テノ年限等モ詳シク承ハリマシテ、大變要ヲ得マシタガ、今一ツ廣軌ニ改良スルノト、現在ノ軌道ヲ改良ナサテ御出ルノト、經費ノ點ノ大要ヲ伺ハレコトガ出來ヌデアリマセウカ、例ヘバ一哩ニ付テドノ位ノ見込ニナルト云フ位ナコトデ宜シイソレモ一樣ニハ參リマスマイガ、米原神戸ノ間トスレバ一哩トシテ此位ノモノデアアル、又ハ神戸カラ米原マデノ間トスレバ廣軌ニ改良スルノニハ凡ソ此位、現在ノヲ改良シテ行ケバ凡ソ此位、是モ隨分容易ナラヌ御調ヲ要スルコトデアラウト思フノデアリマスガ、若シ早解リニ素人ニ解リ得ルヤウナモノガゴザイマスレバ、御示シテ戴キマスレバ大變參考ニナルト思ヒマス

○政府委員(石丸重美君) 實ハ此東海道線ヲ廣軌ニ改築スルト云フコトニ付テハ、未ダ少シモ當局ハ實行ノ豫算ヲ致シテ居リマセヌ、是ハ其必要ヲ認メナイト云フ譯デハナイガ、到底此御參考ニ上ゲマスル四十三年ノ線路調査ノ際ニ作リマシタ一哩當リ、尙ホ其後ニ出來マシタ一哩當リ等

デハ、到底イカスト思ヒマス、營業ヲ止メマシテ仕事ヲスルトカ、或ハ更ニ造リマシテ一線造ッテ廻シテ行クト云フヤウナ簡單ナコトデ行キマスレバ、ソレハ何デモナイノデゴザイマスガ、其豫算ヲ作ルニハ是ハ營業ヲ其儘ニシテ、少シモ今マデノ輸送ニ圓滿ヲ缺カヌヤウニシテヤラナケレバナラヌノデアリマス、茲ガ非常ニ難シイ「サウシテ」ハ東京カラ神戸マデ三百七十餘哩アリマス、同ジ時ニ著手シテ、同ジ時ニ直グ車ガ動カセルヤウナコトデアリマスレバ、是ハ非常ニ宜イノデアリマスガ、ドウモサウ云フコトハ出來ナイ、ソレ故ニ或ル區間ニ之ヲ切リマシテ、サウシテ場合ニ依ッテ三線式ニモ致サナケレバナラヌマセヌ、場合ニ依リマスレバ一線別ニ敷クコトニ致シマシタリ、色々ナ細工ヲシテ掛リマセヌト實行ガ出來ナイデアラウト思フノデアリマス、然ルニヨク御話ガアルノデアリマスガ、改築費ガ是ダケ掛ルカラ、改良費ガソレダケ助カルデハナイカト云フヤウナ御話ガアルノデアリマスガ、是ハ場合ニ依レバ其改良費ナルモノガ廣軌改築一緒ニナルコトハゴザイマスガ、多クノ場合ニ於テハ其廣軌改築ヲ完成シマスマデニ、改良費ト云フモノハ矢張ズン「改良シテ行カナケレバナラヌ」次第デアリマス、或ル部分ハ改良費「プラス」廣軌改築費ト云フモノモ出テ來ルノデアリマス、ソレデハハ洵ニ實行ノ豫算ヲ作ルト云フコトハ非常ニ難シイ、私等ハ先ヅ大體今ノ輸送能力ノナニヲ一番ニ調べルナラバ、ソレデドウモ之ヲ廣軌ニスルト云フコトニ付テ調ベル必要ヲ認メマセヌカラ調ベテゴザイマセヌ、唯今和田サンノ御注文ハ、我々ガ以前作り居リマシタ如ク大體ノ見當、凡ソ一哩此位ト云フ見込ヲ以テヤルト云フコトデゴザイマスレバ、是ハ隨分見込デ以テ行キマスレバ、併シハ自分一個ノ唯頭ニ映ジタコトダケノ話デアリマス、甚ダ大ナル缺陷ヲ致シマスレバ相濟マヌ譯デアリマス、左様ナ次第デゴザイマスカラ、廣軌準備會ノ時、尙ホ軌制調査會アタリニ隨分細カイ調ベヲ致シマシタ、之ヲ土臺ニシテ、ソレニ色々加減ヲシテヤリマシタ...ソレハ迷モ確カナルコトハ解リマセヌガ、出來ヤウカト思ヒマス、何カ是非御必要デモゴザイマスレバ、致シテモ宜シウゴザイマス

○男爵斯波忠三郎君 唯今和田サンカラ御尋ニナツタコトハ、私モ丁度御願シタイト思ッテ居タノデアリマスガ、實ハ昨年此問題ノ上リマシタトキニ、委員ノ一人デアッタ男爵カラ、大體デモ宜シイカラ、ドレダケノ經費ヲ要スルモノデアアルカト云フコトノ御示ヲ願ヒタイト云フコトデ、昨年カラ御願ヒシテ居タノデゴザイマス、併シドウシテモソレガ出來ナイト云フコトデアレバ、是ハ強ヒテ求メル譯ニハ行キマセヌガ、私ハ茲ニ少シ伺ヒタイノハ、此表ノ中ノ最後ニアリマス島案ト云フノハ、是ハ先程次官ノ御說明ニ依リマス、單ニ一部

分擴ゲルダケデアアテ現在ノ車輛デ、「トンネル」ト云フモノモ此儘ニシテ置イテ、單ニ軌幅ヲ擴ゲルダケデ、速力ダケシカ増加ハナイノデアアテ、他ハ違ハナイト云フ御説明デアリマシタガ、私ハ左様ニ存ジテ居リマセヌ、併シソレハ別問題デアリマスカラ御尋ハ致シマセヌガ、島案ノ如キモノガ若シ實行スルト假定スル、其場合ニ現在強度ノ狹軌ニ爲スベク進ミツツアル其工事が完成シタル曉ニ、島案ト云フモノヲ若シ實行スルト假定イタシマスレバ、ドレダケノモノガ殘ルノデアリマスカ、現在強度ノ狹軌ト云フモノニ進ミツツアルノデアリマスカラ、其現在ノ強度ノ狹軌ト云フモノニ進ミツツアッテ、ソレガ茲ニ出テ居ル如ク竣工シタ曉ニ、島案ト云フモノヲヤラウ、斯ウ假定スル、其場合ニハドレダケノ工事が殘ルノデアリマスカ、ソレヲチヨット伺ヒタイ

○政府委員(石丸重美君) 是ハ實際ノ問題ニ依リマスカラ、私モ未ダ島案ナルモノヲ實行シタコトハゴザイマセヌガ、私ノ經驗ニ依リマスレバ島案ナルモノハ「インボツシブル」ト思フノデアリマス、是ハ議論ニナッテハ濟ミマセヌガ、是ハ唯軌間ヲ擴ゲルコトハ何デモナイト仰セラレマスケレドモ、是ハ場所ニ依リマス、線路ヲ全ク變ヘナケレバ軌間ノ擴ガラナイ所モ澤山アルノデアリマス……

○男爵斯波忠三郎君 私ノ御尋シマスノハ「インボツシブル」……可能不可能ノ問題デハナクシテ、島案ト云フ案ガ兎ニ角出來テ居リマスガ、ソレト現在鐵道省ガ拵ヘテアル所ノ強度ノ狹軌ト云フモノト、チヨット考ヘル所デハ軌幅ノ差ダケト云フヤウニ見エマスケレドモ、軌幅ヲ擴ゲルコトガ容易クアルナイト云フ問題ハ、石丸次官ト島案トノ間ニ於テ御意見ノ差ガアルト思ヒマスガ、其御意見ノ差ヲ伺フノデアリマセヌ、島案ヲ假ニ實行スルモノト假定イタシマシテ、石丸次官ハソレハ不可能ト見テ居リマスケレドモ、假ニ斯ウ云フ案ガ出來ルモノト考ヘマシテ、其場合ニ強度ノ狹軌ガ完成シタ場合ニ、島案ヲ其場合ニ於テ實行スルト云フトキニハ、ドレダケノモノガ殘ルカト云フコトデス

○政府委員(石丸重美君) 御質問ノ意味ガ能ク解リマセヌガ、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスガ、若シ島案ヲ採用シテ、島案ノ如クシテ軌間ヲ廣ゲルダケニ止メテ、其島案ノ通りニ三呎六吋ノモノヲ七呎八吋二分ノ一二百哩ナラ百哩ダケ出來タト假定シタ時ニハ、ソレカラ後ノ仕事ハドウ云フモノガ殘ルカト仰セラレノデスカ、チヨットドウモ……

○男爵斯波忠三郎君 現在鐵道省ハ強度ノ廣軌ト云フモノノ二向デ……イヤ強度ノ狹軌デス、強度ノ狹軌ト云フモノノ二向デ進ミツ、アラレト云フコトハ、橋ヲ十分丈夫ニシ「トンネル」ヲ十六呎ニスル、其外色ニヤッテ居ラレル、ソレヲ島案ニ比較シマスルト、我々素人ノ目カラハ單ニ軌幅ダケガ

違フダケジャナカラウカト思ハレマス、ソレデ御尋シテ居ルノ狹軌ノ……イヤ今ノ強度ノ狹軌ガ出來マシタ場合ニ殘ルモノハ軌幅ダケハナカラウカト思ヒマス、島案ト比較イタシマスルト、島案ノ出來ル出來ナイハ別問題デアリマスガ、果シテサウデアアルヤ否ヤト云フコトヲ伺フノデス、尙ホ敷衍イタシマスト現在ノ鐵道省デ企テ居ラレル所ノ狹軌制ナルモノト島案トヲ比較シテ見マスルト、私共門外漢ノ眼ウラ見マス、單ニ軌幅ノ違ヒダケハナカラウカト考ヘルノデアリマス

○政府委員(石丸重美君) 分リマシタ、分リマシタ、ソレデ……

○委員長(伯爵林博太郎君) 速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○委員長(伯爵林博太郎君) 本日ハ之デ散會イタシマス

午後零時十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長	伯爵林	博太郎君
委員	伯爵林	博太郎君
子爵酒井	忠亮君	
子爵野村	益三君	
子爵蔭田	廣城君	
男爵山根	武亮君	
和田	彦次郎君	
内田	嘉吉君	
男爵阪谷	芳郎君	
男爵斯波	忠三郎君	
男爵藤堂	高成君	
山之内	一次君	
鐵道次官	石丸	重美君
鐵道省監督局長	井出	繁三郎君
鐵道省運輸局長	中川	正左君
鐵道省建設局長	大村	鐔太郎君
鐵道省工務局長	岡野	昇君
鐵道省工作局長	高洲	清二君
鐵道省經理局長	別府	丑太郎君

政府委員

大正十一年三月一日印刷

大正十一年三月二日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局